

「1 回だけのお試し」のつもりが… —ネット通販では注文時に内容をよく確認しましょう—

「1 回だけのお試しのつもりで、通常よりも安い価格で商品を購入したら、実は定期購入だった」「解約したくても電話が繋がらない」というトラブルが多数寄せられています。ネット通販はパソコンやスマートフォンを利用してインターネットで簡単に商品を購入できる反面、契約内容や解約条件をよく確認しないとトラブルに遭うことがあります。

【トラブル事例】

- ①インターネットでお試し価格の商品を購入した。1 回だけのつもりがその後も商品が届き、請求書も同封されていた。事業者には電話で確認をすると**定期購入**になっていると言われた。2 回目以降の金額は高額で支払うことができない。
- ②10日以内であれば電話でいつでも解約できると書いてあったので、広告サイトから気軽に商品を購入した。商品を使用して見たが、自分には合わなかったため、解約しようと思い電話をかけた。しかし、何度かけても事業者にはつながらず、解約したいのに解約できない。



●トラブルを防ぐために…

①契約内容を確認しましょう

お試し価格のように通常価格よりも安く購入できる商品は、定期購入が条件になっている場合があります。商品を注文する際には、広告と最終確認画面で**定期購入が条件になっていないこと**をよく確認しましょう。スマートフォンは画面が小さく、文字も細かいため、見落とさないように気をつけましょう。最終確認画面を印刷したり、スクリーンショットで保存しておくとういでしょう。

②解約条件を確認しましょう

ネット通販に限らず通信販売では、クーリング・オフ制度はありません。返品や解約は事業者のホームページや広告に表示されている内容に従うこととなります。定期購入と知らなかった、自分には合わなかったからといって、すぐに解約ができるとは限りません。商品を注文する際には、解約条件をよく確認しましょう。

③連絡の記録を残しましょう

事業者には何度電話をかけてもつながらず、解約期間が過ぎてしまうケースがあります。事業者には連絡した証拠として、電話、FAX、メールなどの記録を残しておきましょう。

**最終確認画面は、契約内容を確認する大切な画面です。
入力項目だけでなく、画面の小さな文字もよく読み、最後まできちんと確認してから商品を注文しましょう！**



冬に多発する入浴中の事故にご注意ください！

寒くなると温かいお風呂に長くつかりたくなります。しかし、冬は急激な温度変化によりヒートショックが起こりやすくなる時期でもあります。入浴中の事故を防ぐために次のことに気をつけましょう！

- ・入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。浴槽のフタを入浴前に開けておくことで浴室全体が暖かくなります。
- ・湯船の温度は41℃以下に設定し、湯船につかるのは10分以内にしましょう。
- ・浴槽から急に立ち上らず、ゆっくり立ち上がりましょう。
- ・入浴前後に水分補給をしましょう。
- ・食後すぐの入浴、アルコールが抜けていない状態での入浴はやめましょう。
- ・入浴前に同居者に一声を掛けて、見回ってもらいましょう。

